

## 第2章

### 被害概要

---

- 第1節 被害概要
- 第2節 住家等の被害
- 第3節 公共土木施設の被害
- 第4節 ライフラインの被害
- 第5節 公共交通機関の被害
- 第6節 医療・福祉施設の被害
- 第7節 農林水産業の被害
- 第8節 商工観光業の被害
- 第9節 文教施設の被害

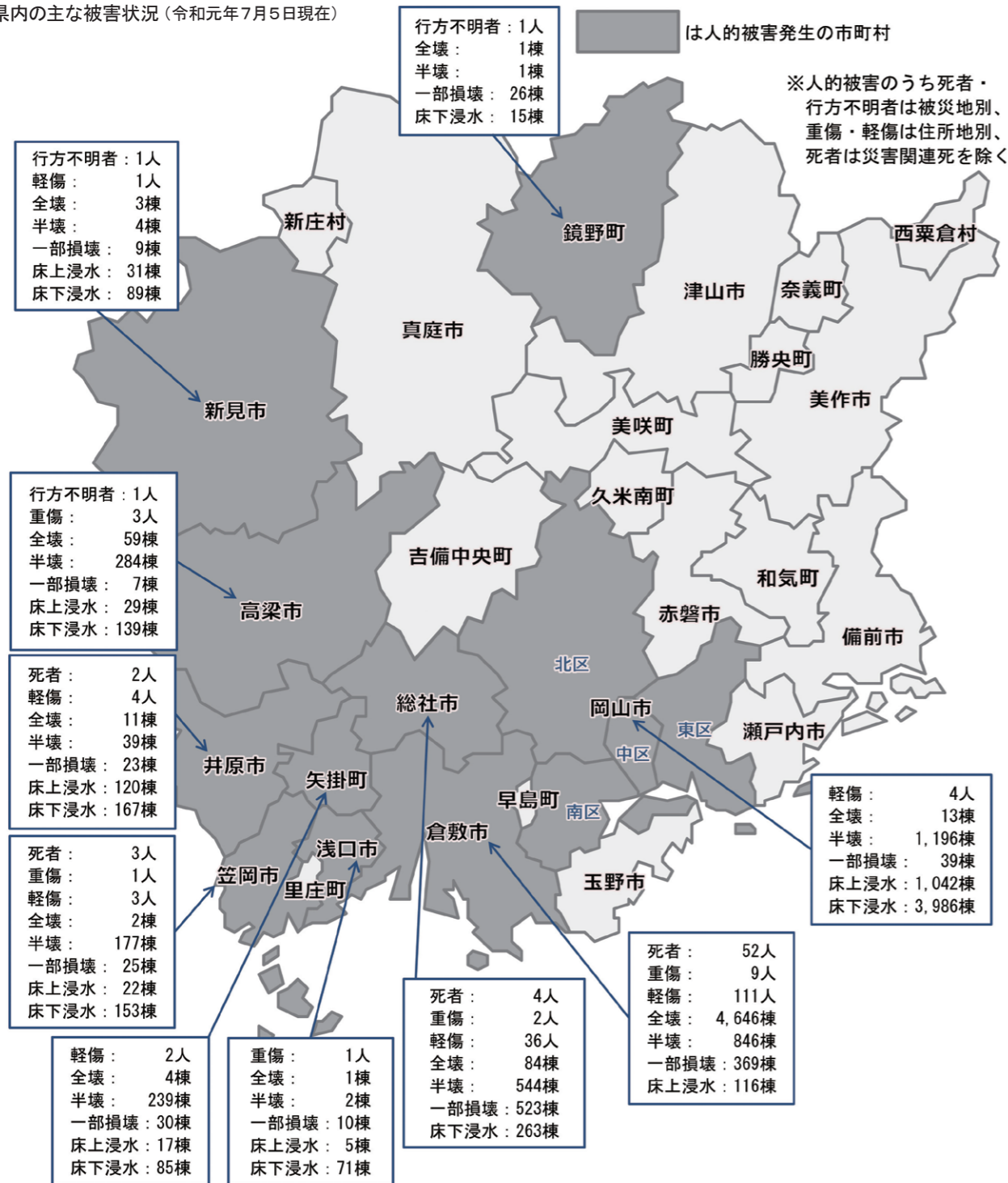
# 第2章 被害概要

## 第1節 被害概要

### 1 県内の被害状況

県内の主な被害状況は次のとおりである。

県内の主な被害状況（令和元年7月5日現在）



### 2 人的被害

平成30年7月豪雨災害は、過去50年の中では最悪の死者数となった。小田川などの氾濫により、被害は倉敷市に集中している。

人的被害の状況（令和2年2月13日現在）

（単位：人）

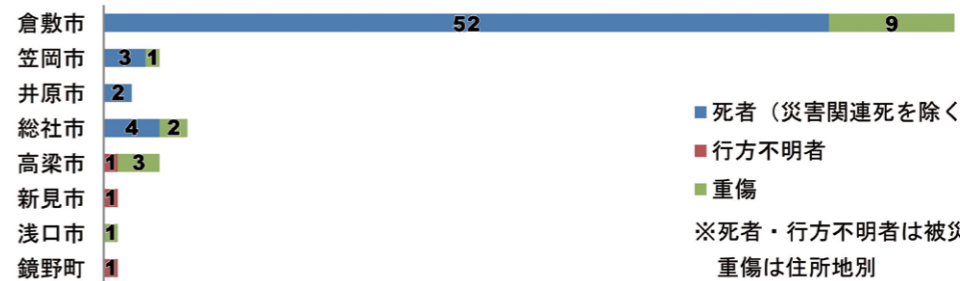
市町村	死者	行方不明者	重傷	軽傷
岡山市				4
倉敷市	68(52)		9	111
笠岡市	3(3)		1	3
井原市	2(2)			4
総社市	10(4)		2	36
高梁市	2(0)	1	3	
新見市		1		1
浅口市			1	
矢掛町	1(0)			2
鏡野町		1		
合計	86(61)	3	16	161

※（ ）内は災害関連死を除いた人数

※ 死者・行方不明者は被災地別、重傷・軽傷は住所別

人的被害の市町村別内訳

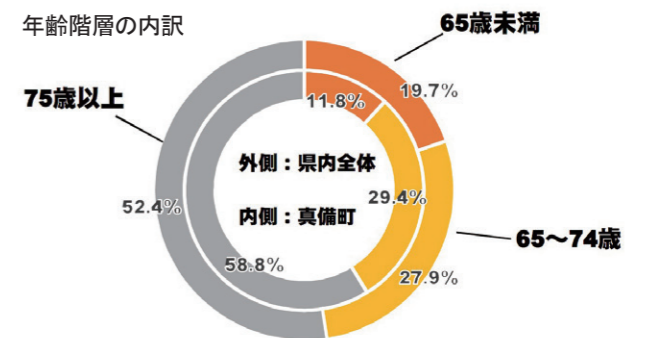
（単位：人）



倉敷市真備町の死者（災害関連死を除く）51人のうち、88.2%に当たる45人が65歳以上であり、高齢者の割合が非常に高くなっている。

年齢階層別死者数

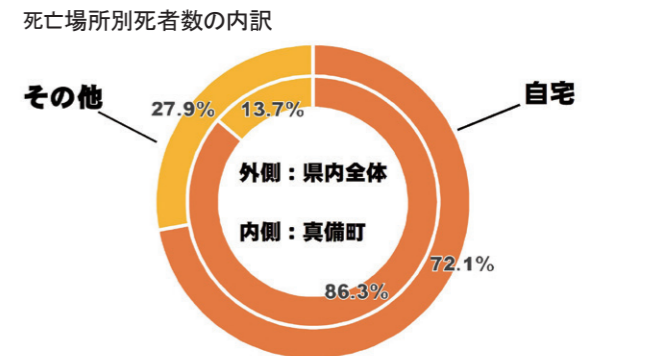
年齢階層	県内全体	うち真備町
65歳未満	12人(19.7%)	6人(11.8%)
65～74歳	17人(27.9%)	15人(29.4%)
75歳以上	32人(52.4%)	30人(58.8%)
合計	61人(100%)	51人(100%)



倉敷市真備町の死者（災害関連死を除く）51人のうち、86.3%に当たる44人が自宅で亡くなっている。

死亡場所別死者数

死亡場所	県内全体	うち真備町
自宅	44人(72.1%)	44人(86.3%)
その他	17人(27.9%)	7人(13.7%)
合計	61人(100%)	51人(100%)



### 3 倉敷市の死者における要介護度及び身体障害の程度

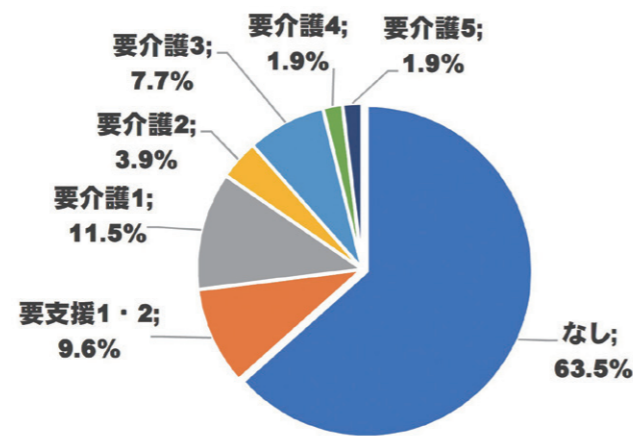
倉敷市の死者（災害関連死を除く）52人のうち、要介護・要支援者が3分の1強（36.5%）を占めた。「平成29年度 介護保険事業状況報告（年報）」（厚生労働省）によると、平成29年度末現在における要介護（要支援）認定者数は641万人で全人口（126,502千人、平成30年4月1日現在＝確定値）に占める割合は5.1%であり、これに比べ非常に高い数値となっている。

また、身体障害者が約4分の1（23.1%）を占めた。「平成30年版 障害者白書」（内閣府）によると、身体障害者（身体障害児を含む）は436万人で全人口（126,529千人、平成30年7月1日現在＝確定値）に占める割合は3.4%であり、この場合も、数値が非常に高くなっている。

倉敷市の要介護度別死者数

要介護度	死者数(割合)
なし	33(63.5%)
要支援1・2	5(9.6%)
要介護1	6(11.5%)
要介護2	2(3.9%)
要介護3	4(7.7%)
要介護4	1(1.9%)
要介護5	1(1.9%)
合計	52(100%)

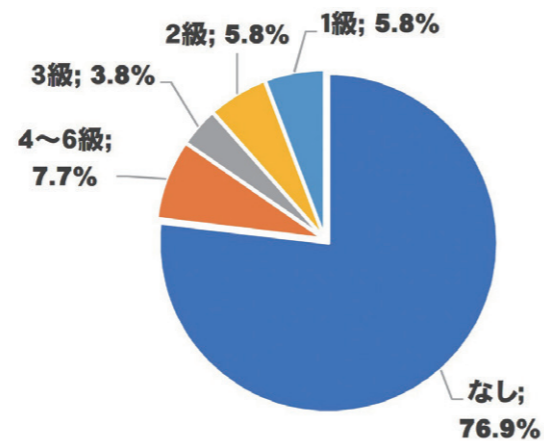
倉敷市の要介護度別死者数の内訳



倉敷市の身体障害の程度別死者数

身体障害の程度	死者数(割合)
なし	40(76.9%)
4～6級	4(7.7%)
3級	2(3.8%)
2級	3(5.8%)
1級	3(5.8%)
合計	52(100%)

倉敷市の身体障害の程度別死者数の内訳



## 第2節 住家等の被害

### 1 住家被害の状況

令和元年7月5日時点の住家（現実に居住のため使用している建物）被害の状況は、次のとおりである。

住家被害の状況（令和元年7月5日時点）（単位：棟）

市町村	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
岡山市	13	1,196	39	1,042	3,986
倉敷市	4,646	846	369	116	
津山市	3	2	23	65	193
玉野市		2	5		13
笠岡市	2	177	25	22	153
井原市	11	39	23	120	167
総社市	84	544	523		263
高梁市	59	284	7	29	139
新見市	3	4	9	31	89
備前市				4	
瀬戸内市			3		1
赤磐市		5	5	10	34
真庭市	2	4	13	38	83
美作市				27	74
浅口市	1	2	10	5	71
和気町		18	2	6	30
早島町			1		52
里庄町	1	2	4		9
矢掛町	4	239	30	17	85
新庄村					1
鏡野町	1	1	26		15
勝央町					6
奈義町					2
西粟倉村				3	13
久米南町			2		
美咲町				3	30
吉備中央町			7	3	8
計	4,830	3,365	1,126	1,541	5,517

### 2 非住家被害の状況

令和元年7月5日時点の非住家（住家以外の建物）被害の状況は、次のとおりである。

非住家被害の状況（令和元年7月5日時点）（単位：棟）

市町村	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
岡山市	2	11	9	67	24
倉敷市	75		7	1,153	18
津山市	9	1	18	45	153
玉野市	2		6		5
笠岡市	1	2	12	11	2
井原市	7	7	32	248	17
総社市	100	366	203		11
新見市	3		2	9	18
備前市					1
赤磐市	1		3	13	28
真庭市	2				
美作市				23	34
浅口市	6		3	1	12
和気町	2	3	2	7	22
矢掛町	1			7	
鏡野町			4		14
久米南町			1		
美咲町			1	2	7
吉備中央町	5			1	
計	216	390	303	1,587	366

### 第3節 公共土木施設の被害

公共土木施設の被害件数は、県管理分で1,362件、約207億100万円、指定都市の岡山市管理分を除く市町村管理分で1,461件、約138億5,300万円、計2,823件、約345億5,400万円となった。

公共土木施設被害額 (単位：千円) (※岡山市を除く)

被害区分	被害箇所数		被害金額
道路	県	301	5,522,574
	市町村	1,032	8,872,753
	計	1,333	14,395,327
河川	県	801	12,556,413
	市町村	393	2,450,224
	計	1,194	15,006,637
砂防	県	257	2,217,337
	市町村	—	—
	計	257	2,217,337
港湾	県	3	404,607
	市町村	—	—
	計	3	404,607
下水	県	—	—
	市町村	18	2,145,475
	計	18	2,145,475
公園	県	—	—
	市町村	18	384,499
	計	18	384,499
合計	県	1,362	20,700,931
	市町村	1,461	13,852,951
	計	2,823	34,553,882

### 1 河川の被害状況

#### (1) 概要

平成30年7月豪雨により、岡山県全域で記録的な雨量が観測され、県南部で堤防の決壊(県管理10河川16箇所)等による甚大な浸水被害が生じたほか、越水や護岸の崩壊が発生した。

河川に係る被害状況は、県管理801件、市町村管理393件、約150億700万円となり、県内の被害額の約4割以上を占めた。

河川の被害状況

	件数	金額(千円)
県管理河川	801	12,556,413
市町村管理河川	393	2,450,224
合計	1,194	15,006,637

#### (2) 堤防の決壊等の状況

砂川、末政川など、県が管理する河川の10河川16箇所では堤防が決壊した。このうち重要水防箇所となっていたのは3箇所であった。

県内の主な決壊箇所図



ア 主に越水で決壊した河川

主に越水で決壊した河川の状況は次のとおりとなっている。

主に越水で決壊した河川

河川名	所在地	被害延長	重要水防箇所
1 砂川	岡山市東区沼	左岸 120m	
2 旭川	岡山市北区御津国ヶ原	左岸 48m	
3 高梁川	総社市下倉	右岸 60m	
4		右岸 70m	
5		左岸 40m	
6 末政川	倉敷市真備町有井	左岸 110m	
7		右岸 150m	
8 高馬川	倉敷市真備町箭田	左岸 20m	
9		右岸 55m	
10 真谷川	倉敷市真備町服部	左岸 75m	
11	矢掛町東川面	左岸 50m	○
12 小田川	矢掛町江良	右岸 40m	
13	矢掛町本堀	左岸 40m	○

イ 主に侵食・洗掘で決壊した河川

主に侵食・洗掘で決壊した河川の状況は次のとおりとなっている。

主に侵食・洗掘で決壊した河川

河川名	所在地	被害延長	重要水防箇所
14 尾坂川	笠岡市甲弩	左岸 80m	○
15 岩倉川	井原市岩倉町	右岸 15m	
16 高屋川	井原市高屋町	左岸 35m	

(3) 浸水被害状況図

ア 倉敷市真備町

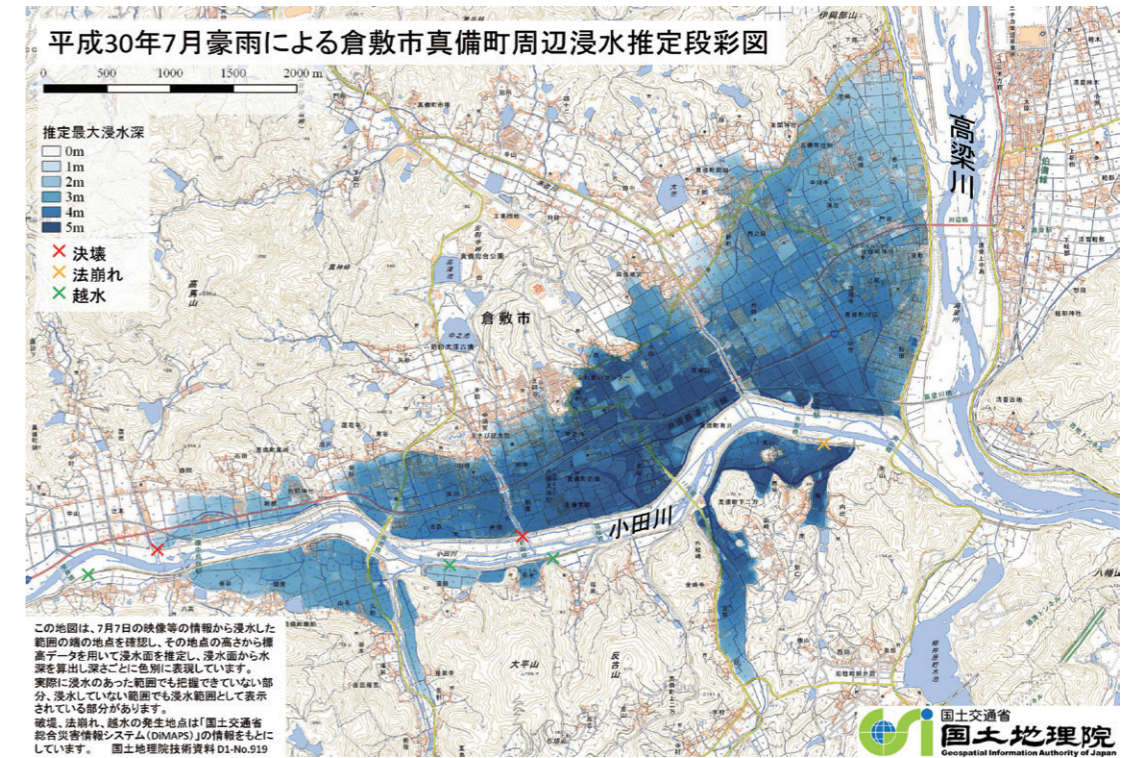
高梁川と小田川の水位上昇に伴い、倉敷市真備町において小田川で2箇所、その支川で6箇所の堤防が決壊し、広い範囲で浸水被害が発生した。浸水面積は約1,200ha、全壊棟数約4,600棟に上った。

また、浸水深が5mを超えるところもあった。

浸水被害状況図(倉敷市真備町)



浸水推定段彩図(倉敷市真備町)

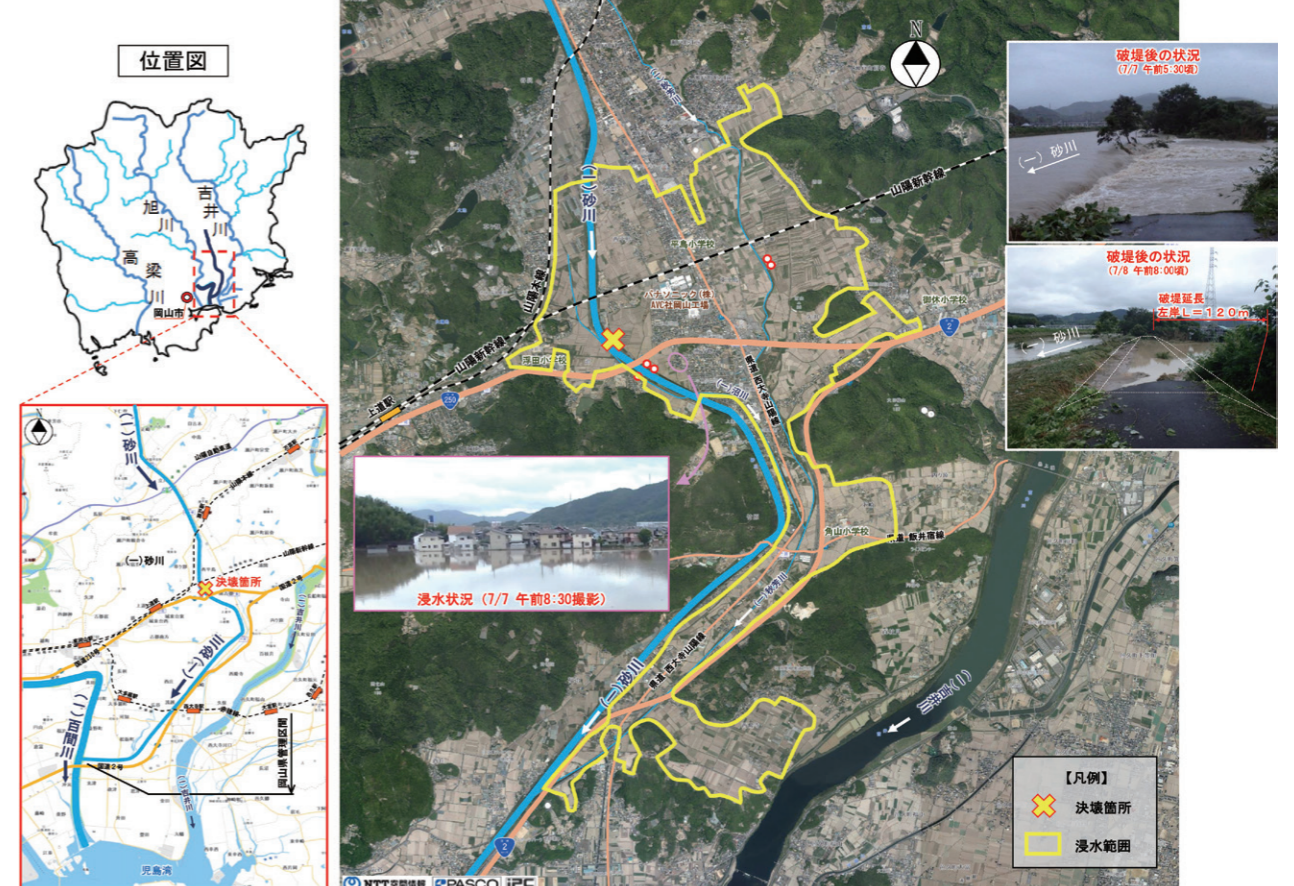


出典：国土交通省国土地理院ウェブサイト  
http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/H30.taihuu7gou.html

イ 岡山市東区

砂川では、岡山市東区沼において堤防が決壊し、広い範囲で浸水被害が発生した。浸水面積は約750ha、浸水棟数2,200棟以上に上った。

浸水被害状況図(岡山市東区)



## 2 土砂災害及び砂防施設被害の状況

### (1) 土砂災害の状況

平成30年7月豪雨では、土砂災害（土石流、地すべり、がけ崩れ）が56箇所発生し、これにより死者3人の人的被害が発生した。

土砂災害の内訳は土石流11箇所、がけ崩れ35箇所、地すべり10箇所であった。特にがけ崩れでは、笠岡市茂平で死者2人、井原市西江原町で死者1人の被害が発生した。

また、高梁市落合町近似的陰地川<sup>おんじ</sup>では土石流により、負傷者1人、全壊1戸、一部損壊2戸の被害が発生し、土石流の一部が、避難所となっている高梁中学校や高梁小学校の敷地に流れ込んだ。

【土石流】陰地川・高梁市落合町近似



【土石流】陰地川・高梁市落合町近似



人的被害：負傷者1人  
家屋被害：全壊1棟  
一部損壊2棟

【がけ崩れ】笠岡市茂平



【がけ崩れ】井原市西江原町



### (2) 砂防施設被害の状況

砂防施設被害は県全体で257箇所、被害金額は約22億1,700万円となった。

## 3 道路の被害状況

### (1) 概要

平成30年7月豪雨では、県内の高速道路、国道、県道が同時多発的に被災し、通行止めとなった。このことにより迂回機能を発揮できず、道路ネットワークが寸断され、救助・救援活動車両や一般車両の通行が著しく制限されることとなった。

道路施設被害は、県全体で1,333箇所、被害金額は約143億9,500万円となった。

道路の被害状況（※岡山市を除く）

	被害件数	被害金額(千円)
県管理道路	301	5,522,574
市町村管理道路	1,032	8,872,753
合計	1,333	14,395,327

### (2) 通行規制の状況

#### ア 高速道路の状況

高速道路では、7月6日19時に中国自動車道（北房ICから東城IC）等が雨量基準値の超過による全面通行止めとなったことをはじめ、順次通行止めとなり、7月7日5時30分の瀬戸中央自動車道（児島ICから坂出IC）の通行止めにより、県内全ての高速道路が通行止めとなった。

全線の通行止めは7月7日16時まで継続したが、その後順次解除され、崩土により全面通行止めとなっていた岡山自動車道（賀陽ICから有漢IC）が7月9日12時32分に片側交互通行となり、これにより、全線の通行が可能となった。

#### イ 国管理道路の状況

国道180号では、高梁川の増水により最大水深約4mの道路冠水が発生し、7月6日19時10分より総社市宍粟から総社市種井において全面通行止めとなった。

また、国道53号でも、旭川の増水により道路冠水が発生し、7月6日21時10分より岡山市北区御津草から美咲町打穴中北において全面通行止めとなった。

この他、国道2号の備前市伊里中から東片上において、連続雨量が基準に達したため、事前通行規制による全面通行止めなどが発生したが、7月11日17時までに全ての全面通行止めが解除された。

#### ウ 県管理道路の状況

県管理道路では、7月5日午後から崩土や雨量基準の超過が発生しており、6日0時の時点で42箇所の全面通行止め等を行っていた。

これらの通行規制の多くは6日の午前中に一旦解除されたものの、6日午後から再び冠水等による通行止め等が増加し、7日0時点で規制箇所は100箇所以上となっていた。

さらに夜が明けるにつれ被害が多数報告され、7日17時に最大の231箇所（うち全面通行止め204箇所）となった。

応急復旧作業に向かう職員や土木業者が目的地到達までに時間を要するケースもあったが、懸命な作業により、1週間後の14日20時には全面通行止めは96箇所まで減少した。

県では、道路規制情報提供システムにより規制情報を専用WEBサイトで提供したほか、道路整備課ホームページにおいても主要道路の通行可否や規制解除の情報を随時提供した。

岡山県道路規制情報提供システム専用WEBサイト

岡山県道路規制情報 規制一覧(岡山県内全路線・全市町村)

通行止め 大型通行止め 片側交互通行 車線・路肩規制 歩道規制

通行止め(107件)

路線名	規制区間	規制種別	原因	規制期間		規制時刻		管理者等	備考	詳細
				開始	終了	開始時刻	終了時刻			
県道48号 主要地方道 笠岡美星線	井原市 美星町明谷 ~井原市 美星町明谷	⊗	道路改良工事	2019/05/15	2019/12/30	終日		岡山県		<a href="#">詳細</a>
県道372号 一般県道 下土井下加茂	加賀郡吉備中央町 上田東	⊗	災害復旧工事	2019/07/08	2020/03/31	終日		岡山県		<a href="#">詳細</a>
県道440号 一般県道 上有漢北房線	真庭市 上水田	⊗	道路改良工事	2019/08/01	2020/02/28	終日		岡山県		<a href="#">詳細</a>
県道124号 一般県道 宮原力万線	美作市 宮原	⊗	道路改良工事	2019/09/17	2020/02/18	終日		岡山県		<a href="#">詳細</a>
県道265号 一般県道 周田久米南線	久米郡久米南町 全間	⊗	道路改良工事	2019/10/01	2020/01/22	終日		岡山県		<a href="#">詳細</a>
県道49号 主要地方道 高梁旭線	久米郡美咲町 江与味 ~久米郡美咲町 江与味	⊗	災害復旧工事	2019/09/30	2020/01/31	終日		岡山県		<a href="#">詳細</a>
国道373号	英田郡西栗倉村 長尾 ~英田郡西栗倉村 長尾	⊗	災害復旧工事	2019/10/19	2020/05/31	終日		岡山県		<a href="#">詳細</a>
県道390号 一般県道 古見月田停車場線	真庭市 月田 ~真庭市 月田	⊗	災害復旧工事	2019/06/29	2020/12/29	終日		岡山県		<a href="#">詳細</a>
県道103号 一般県道 七曲井原線	井原市 笠置町 ~井原市 笠置町	⊗	災害復旧工事	2019/10/23	2020/03/22	終日		岡山県		<a href="#">詳細</a>

### (3) 主な箇所の被害状況

#### ア 国道430号(玉野市日比)

車道及び歩道が約40mにわたって崩壊し、全面通行止めとなった。

国道430号(玉野市日比)



#### イ 県道鷲羽山公園線(倉敷市児島宇野津)

道路全体が約40mにわたって谷側へ崩壊し、全面通行止めとなった。

県道鷲羽山公園線(倉敷市児島宇野津)



#### ウ 県道倉敷美袋線(倉敷市真備町服部)

小田川周辺の広い範囲が水没し、舗装の破損や土砂の堆積が発生した。

県道倉敷美袋線(倉敷市真備町服部)



#### エ 国道486号(矢掛町小田)

小田川の増水等により冠水し、通行止めとなった。

国道486号(矢掛町小田)



#### オ 国道180号(高梁市津川町今津)

谷部からの土砂流出により、道路全体が埋塞した。

国道180号(高梁市津川町今津)



#### カ 国道429号(美咲町里)

高さ約60mの斜面崩壊が発生した。

国道429号(美咲町里)



## 4 港湾の被害状況

県管理港湾では、水島港など3箇所で河川からの土砂流入による航路の埋没や流木の漂着などの被害が発生し、その被害額の合計は約4億500万円となった。

## 5 下水の被害状況

下水道は、倉敷市真備町の真備浄化センターの浸水や中継ポンプの制御盤冠水、管路の閉塞破損など、県内18箇所において被害が発生し、被害額の合計は約21億4,500万円となった。

浸水した真備浄化センター



## 6 公園の被害状況

公園は、高梁川河川敷グラウンドなど、県内18箇所において被害が発生し、被害額の合計は約3億8,400万円となった。

芝の大部分が流失した高梁川河川敷グラウンド



## 第4節 ライフラインの被害

### 1 電気

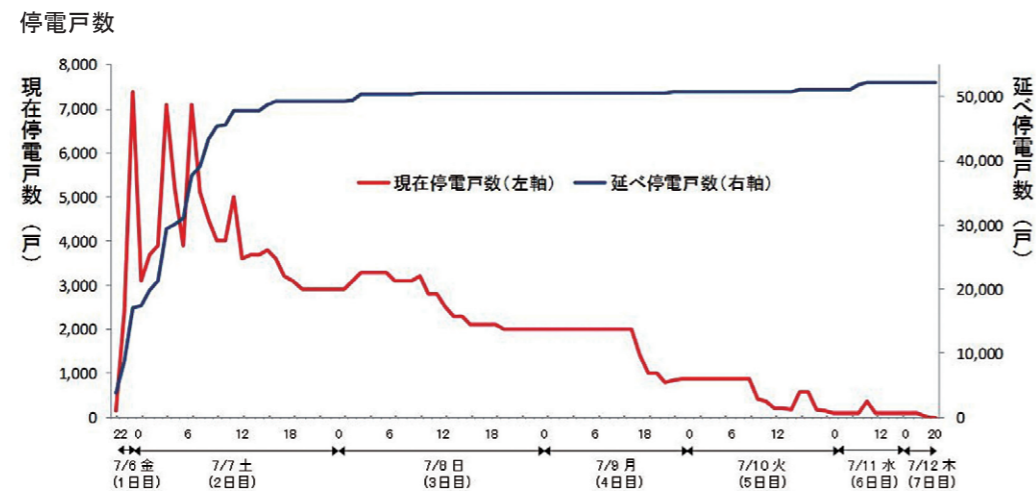
7月6日夜間から県内で停電が発生し、ピーク時には約7,400戸、延べ約51,200戸（農事用電灯や公衆街路灯等を含んだ契約戸数であるため、停電した世帯数とは異なる）が停電した。

高梁市に位置する成羽変電所が河川の増水により浸水し停電が発生したが、近隣変電所の配電線からの送電により解消した。

配電設備は、土砂崩落、樹木倒壊及び河川氾濫等により広範囲にわたり被害を受け、65本の電柱が倒壊や折損、流出し、高圧配電線が30箇所断線するなどした。

市町村別  
各ピーク時停電戸数

市町村名	戸数(戸)
岡山市	1,400
倉敷市	2,100
津山市	330
玉野市	540
笠岡市	200
井原市	3,500
総社市	1,900
高梁市	3,700
新見市	460
真庭市	760
美作市	340
浅口市	260
里庄町	90
矢掛町	50
吉備中央町	350



高梁市備中町での電柱被害



矢掛町での電柱被害



真備電話交換所の水没被害



玉野市内の地下通信ケーブルの被害



### 3 水道

水道施設の被害により、約20,000戸（8市町）の断水が発生した。そのほとんどは、被害が大きかった高梁川水系の沿河市町であり、被害額は約9億5,000万円であった。

また、被害のほとんどが取水施設及び浄水施設の浸水によるものであった。

水道施設(送水設備)の被害状況



水道施設の断水戸数

市町村名	断水戸数(戸)
倉敷市	8,900
高梁市	7,071
矢掛町	3,416
新見市	644
井原市	137
鏡野町	21
美咲町	10
津山市	6
合計	20,205

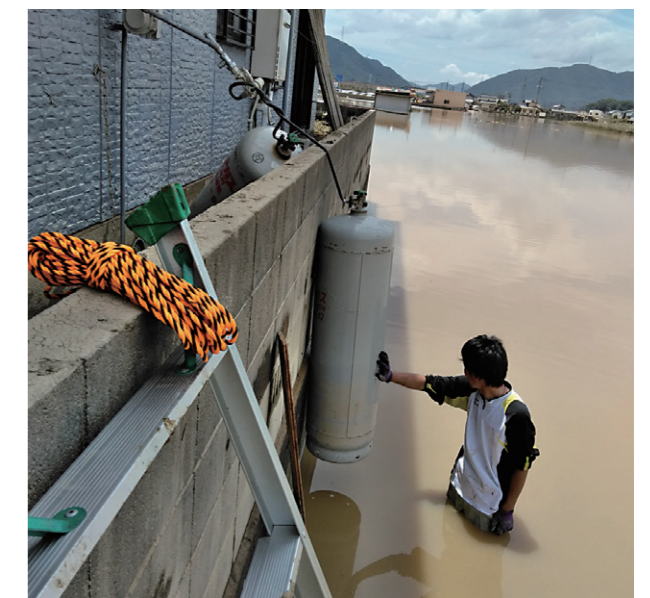
水道施設の主な被害額(平成30年8月現在)

市町村名	被害額(千円)
倉敷市	174,325
高梁市	521,100
矢掛町	76,000
新見市	83,900
井原市	36,700
鏡野町	5,000
美咲町	53,000
合計	950,025

### 4 ガス

浸水により、約2,000本を超えるLPガス容器が川岸や海域などに流出するなどの被害が発生した。ガス充填所などへの被害も非常に大きかった。

水に浸かりながらの作業



### 2 通信

固定通信における県内の被災状況としては、NTT西日本における真備電話交換所の水没や地下通信ケーブルの被害等により、7,560回線が被災した。

主な被災エリアは倉敷市真備町、真庭市北房町、玉野市日比・渋川地区の一部であった。

通信回線は、専用線が7月26日、フレッツ

光が8月1日、加入電話が8月3日に回復するまで、不通が続いた。

移動通信については、大雨による基地局設備への浸水、停電、光回線断などにより、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクの3社全てで携帯電話サービスの中断が発生し、7月7日以降、特に浸水被害が甚大であった倉敷市真備町や総社市、高梁市などにある基地局を中心に、携帯電話サービスが利用しづらい状況が続いた。



## 第5節 公共交通機関の被害

### 1 鉄道

#### (1) JR西日本

記録的な雨量が観測される中、県内全ての在来線で、法面崩壊、土砂流入、道床流出、変電所冠水、電柱倒壊、倒木など、大小合わせて約230箇所の被害が発生した。

7月6日には、高梁川の氾濫により、伯備線の備中広瀬駅構内（高梁市）が冠水し、また、氾濫した水流により付近のトラックが押し流され、上下線をまたぐ形で線路内に流入した。特に備中広瀬駅から備中高梁駅までの区間は、線路と並行する高梁川の氾濫による被害の影響が大きく、線路の道床や枕木の流出が相次いだ。

県北部の山間部を走る姫新線では、新見市の丹治部駅から岩山駅までの区間において、線路と並行している中国自動車道の盛土が崩壊し、線路内へ流入した。

7月6日夜遅くには、県内全線で運転見合わせとなり、特に大きな被害を受けた路線では、JRや沿線市町村において、バスによる代行輸送が行われた。

水没した備中広瀬駅付近



タンクローリーが線路内に流入した備中広瀬駅付近



JRによるバスの代行輸送

路線名	線区	バス代行輸送期間
姫新線	上月駅～津山駅	H30.7.21～8.9
	津山駅～中国勝山駅	H30.7.21～8.26
	中国勝山駅～新見駅	H30.7.21～8.30
津山線	玉柏駅～野々口駅	H30.7.17～8.4
伯備線	豪溪駅～上石見駅	H30.7.19～7.31
芸備線	新見駅～東城駅	H30.7.23～8.26
因美線	津山駅～美作加茂駅	H30.7.21～8.26
	美作加茂駅～智頭駅	H30.7.21～8.30

※JRが代行バスを運行するまでの間、6市3町（津山市、総社市、高梁市、新見市、真庭市、美作市、鏡野町、勝央町、久米南町）において、学生を対象にバスによる代行輸送が行われた。

#### (2) 井原鉄道

集中的な被害を受けた倉敷市真備町を横断する井原鉄道では、吉備真備駅など3駅が浸水したことから7月6日から9日まで全線で運転見合わせとなった。10日からは神辺駅から三谷駅間で折り返しにより運転を再開し、18日から、総社駅から三谷駅間でバスによる代行輸送が行われた。

周辺が水没した川辺宿駅（県民等からの提供写真）



#### (3) 智頭急行

特急「スーパーはくと」「スーパーいなば」は、7月6日から全線で運転見合わせとなったが、特急「スーパーはくと」は、7月14日から、京都駅から智頭駅までの区間で運転が再開され、復旧が遅れた智頭駅から鳥取駅までの区間では、バスによる代行輸送が行われた。

### 2 路線バス

各路線バスでは、一部路線で運行見合わせが行われた。

## 第6節 医療・福祉施設の被害

### 1 医療施設

特に浸水被害が甚大であった倉敷市真備町では、まび記念病院に、一時的に患者や病院関係者、避難してきた周辺住民が取り残され、ボートによる救助が行われるなど、大きな被害があった。

また、真備町内のほぼ全ての医療機関が浸水被害に遭い、患者データが喪失するなど、医療機能に甚大な影響があったが、仮設診療所を設置するなど、まもなく診療を再開した医療機関もあった。

浸水したまび記念病院



浸水した矢掛町立中川保育園



### 2 保育関係施設

備前、備中地域を中心に、10市2町の広範な地域で、保育所や認定こども園、放課後児童クラブなど53施設が、浸水や土砂流入等の被害を受けた。

保育関係施設の被災状況

施設種別	被害施設数	市町村別施設数内訳
保育所・認定こども園	40施設	岡山市15、倉敷市11、笠岡市1、井原市1、高梁市3、新見市2、瀬戸内市3、真庭市1、浅口市1、矢掛町1、吉備中央町1
児童館	2施設	岡山市1、倉敷市1
地域子育て支援拠点	1施設	倉敷市1
放課後児童クラブ	10施設	岡山市4、倉敷市2、笠岡市1、総社市1、高梁市1、瀬戸内市1
合計	53施設	10市2町

### 3 障害者関係施設

備前、備中地域を中心に、3市の広範な地域で、障害福祉サービス事業所、児童発達支援事業所など19事業所が、浸水や土砂流入等の被害を受けた。

被災した障害者関係事業所



障害者関係事業所の被災状況

事業種別	被害事業所数	市町村別事業所数内訳
就労継続支援A型	4件	倉敷市3、総社市1
就労継続支援B型	2件	倉敷市2
就労移行支援	1件	倉敷市1
相談支援	2件	倉敷市2
共同生活援助	3件	岡山市1、倉敷市2
児童発達支援・放課後デイサービス	4件	倉敷市4
生活介護	1件	倉敷市1
自立訓練	1件	倉敷市1
地域活動支援センター	1件	倉敷市1
計	19件	岡山市1、倉敷市17、総社市1

### 4 高齢者関係施設

県は、災害発生以降の情報収集や関係団体等からの情報提供に基づき、高齢者施設の被災状況の把握を行うとともに、職員を現地に派遣し、被災状況の確認を行い、厚生労働省との被災情報の共有を図った。

総社市内の特別養護老人ホームでは、全居室

の床上浸水、停電等の状況を受け、関係団体等の全面的な協力により、全入所者101人を他の特別養護老人ホーム、医療機関等へ移送した。

県が把握した床下浸水以上の被災施設数は、8月20日時点で、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の居住施設が16施設、通所介護・訪問介護等の事業所が44施設、合計60施設であった。

高齢者関係施設の被災状況

施設種別	被害施設数	市町村別施設数内訳
介護老人保健施設（注1）	1施設	倉敷市1
特別養護老人ホーム（注1）	6施設	倉敷市1、総社市2、高梁市3
認知症グループホーム	4施設	岡山市3、倉敷市1
有料老人ホーム等	5施設	岡山市1、倉敷市4
通所介護（注2）	15施設	岡山市6、倉敷市7、笠岡市1、矢掛町1
訪問介護等（注2）	29施設	岡山市10、倉敷市15、井原市1、総社市1、高梁市1、矢掛町1
計	60施設	6市1町

注1：短期入所・地域密着型を含む。

注2：地域密着型・総合事業を含む。

## 第7節 農林水産業の被害

大雨による河川の氾濫や土砂崩れ等により、倉敷市真備町を中心に県内全域で被害が発生し、農林水産業関係の被害総額は約266億4,600万円に上った。

農林水産業関係被害額

被害内容	被害金額(千円)
農作物・農業施設・農業用機械	6,516,458
農地・農業用施設	15,143,979
治山・林道関係	4,057,444
その他農林水産被害	928,486
合計	26,646,367

### 1 農作物・農業施設・農業用機械

農作物では、県内21市町村で土砂流入や冠水による水稲への被害が最も大きかった。特に、倉敷市真備町、笠岡市、矢掛町、岡山市などで被害規模が大きく、植え付け後の土砂流入により収穫が皆無となった地域があった。

また、果樹は、冠水、土砂流入、園地崩落等により、ぶどうが約9haで約1億2,000万円(10市町)、ももが約5haで約3,000万円(5市)の被害となった。野菜は、青ねぎが約6haで約3,000万円、トマトが約3haで約1,600万円、黄ニラとパクチーが約3haで約1,700万円など、主に冠水による被害となった。花きは、バラ、リンドウなどが冠水し、シクラメン、花壇苗は鉢が流されるなどの被害があった。

また、農業施設では、倉庫等の冠水で約7億4,000万円、ハウスや果樹棚の倒壊等で約3億8,000万円の被害となったほか、最も被害が大きかった農業用機械は、トラクター等が冠水で約47億1,300万円の被害となった。

水田への冠水被害(倉敷市真備町)



農作物・農業施設・農業用機械の被害状況

被害内容	面積・箇所数	被害金額(千円)
農作物	水稲等	858.42ha 430,211
	果樹	16.69ha 177,729
	野菜	22.00ha 83,163
	花き	3.69ha等 16,124
農業施設	418棟等	1,096,376
農業用機械	6,766台	4,712,855
合計		6,516,458

### 2 農地・農業用施設

農地・農業用施設関係は、県内全域にわたり6,580箇所、約151億4,400万円の被害となった。

その内訳は、農地が23市町村3,856箇所、約45億2,300万円、ため池、頭首工、揚水機、水路、農道、橋梁の農業用施設が26市町村2,656箇所、約101億8,000万円、地すべり防止施設・農業集落排水施設等が6市町16箇所、約5億900万円、鳥獣被害防止施設については17市町52箇所、約400万円であった。

県中北部の中山間地域では、階段状の小さな水田が多く、畦畔も比較的高く崩れやすい花崗岩風化土のため、異常な出水や湧水により畦畔が崩壊した。また、県南部では、小田川及びその支川や、砂川の堤防が決壊し、水田に堆砂や耕土流出が生じたほか、低平地の湛水を防ぐ排水機が浸水による被害を受けた。

さらに、ため池では、4箇所、堤防が決壊したが、その多くは、堤体裏法面のすべり破壊による被災であった。

また、県特産の白桃やピオーネ等を栽培している急勾配な果樹園の被災もあった。

水田の畦畔崩壊(美咲町)



農地・農業用施設の被害状況

被害内容	箇所数	被害金額(千円)
農地	3,856箇所	4,523,000
ため池	230箇所	1,938,000
頭首工	235箇所	2,079,000
揚水機	71箇所	3,336,000
水路	1,329箇所	1,287,000
農道	775箇所	1,362,000
橋梁	16箇所	106,000
その他	68箇所	512,979
合計	6,580箇所	15,143,979

### 3 治山・林道関係

治山・林道関係については、林地の崩壊等が21市町村、286箇所、約31億7,800万円、林道が18市町村、241箇所、約6億8,900万円、造林地は17市町村、498箇所、約1億9,100万円の被害となった。

特に林地の崩壊等は備中地域、林道及び造林地の被害は美作地域に集中した。

なお、林地の崩壊などは、尾根付近からの崩壊と風化した花崗岩(マサ土)地帯での被害発生が数多く見られた。

山腹の崩壊(井原市上出部町)



山腹の崩壊(新見市足立)



路体が崩壊した林道(真庭市)



治山・林道関係の被害状況

被害内容	箇所数	被害金額(千円)
治山	286箇所	3,177,920
林道	241箇所	688,545
造林地	498箇所	190,979
合計	1,025箇所	4,057,444

## 4 その他農林水産業の被害

### (1) 共同利用施設

河川の決壊、氾濫などにより、県南部から中部にかけて農業協同組合等が所有する共同利用施設が被災した。県内の被災施設数は24施設、被害総額は約1億1,600万円となった。主な被災施設は、選果場、加工場、農産物倉庫、種苗生産施設であり、浸水、土砂流入などにより外壁や設備類が損壊、流出した。

浸水した選果場（倉敷市真備町）



### (2) 畜産関係

畜舎浸水などにより、14農場で、家畜の死亡や生産物が廃棄されるなど、畜産関係での被害額は約500万円となった。また、畜舎等への土砂流入などにより、4農場の鶏舎と11農場の牛舎が損壊し、施設関連の被害額は約2億1,700万円となったほか、飼料畑への冠水や土砂流入により、飼料作物の被害額は約1,700万円に上った。

### (3) 林産関係

#### ア 木材加工施設

県内10市町村、19箇所において、製材施設及び製材品の水没や土砂流入など約2億5,200万円の被害となった。

#### イ 資材倉庫

県内1市、1箇所において、倉庫等の浸水によりチェーンソー等の資材が水没し、約600万円の被害となった。

#### ウ 特用林産施設

県内2市、2箇所において、倉庫の浸水により、しいたけ菌床が流出したほか、竹加工機や製品が水没するなど約400万円の被害となった。

浸水した木材加工施設（矢掛町）



### (4) 水産関係

水産関係は、5市、11箇所において、約3億1,200万円の被害となった。

特に、高梁川の支流である新本川の氾濫によって、高梁川漁業協同組合のアユ種苗生産施設が水没、破損するなど、甚大な被害を受けた。

また、沿岸域の漁港施設には土砂の流入等の被害が10箇所が発生し、漁業活動に支障が生じた。

被災したアユ種苗生産施設（総社市下原）



その他農林水産被害

被害内容	箇所数	被害金額（千円）
共同利用施設	24施設	115,525
畜産関係	29農場等	238,343
林産関係	22箇所	262,808
水産関係	11箇所	311,810
合計		928,486

## 第8節 商工観光業の被害

### 1 観光業の被害

平成30年7月豪雨による観光地自体の直接的被害は少なく、井倉洞など一部被害を受けた観光地を除き、倉敷美観地区や岡山後楽園は、豪雨直後からほぼ平常どおり営業していた。

また、JR在来線や井原鉄道の一部区間が運休したものの、岡山桃太郎空港や新幹線、高速道路に大きな被害はなく、観光地へのアクセスの問題も早期に解決された。

県では、災害による観光面での影響を最小限に食い止めるため、発災直後から、観光施設等の営業状況や公共交通機関の運行状況等に関する正確な情報を、ホームページやSNS等を通じて、国内外に向けて積極的に発信し続けた。

しかしながら、7月6日から18日までの宿泊キャンセル数は約10万人で、これにより喪失した観光消費額は約24億円に上り、観光関連産業にとって大きな打撃となった。（県調査）

災害後の観光自粛ムードはすぐに解消されることなく、主要観光施設30施設の利用者数は、7月が対前年比△31.3%、8月が△9.9%と、トップシーズンにおける客足は大きく落ち込んだ。（県調査）

観光消費額を左右する宿泊施設への影響は更に深刻であり、延べ宿泊者数については、7月が対前年比△8.6%、8月が△6.3%で、これまで右肩上がりであった訪日外国人延べ宿泊者数についても、7月が対前年比△10.3%、8月が△10.5%と大幅なマイナスとなった。

（観光庁平成30年宿泊旅行統計調査確報値）

被災した井倉洞



### 2 商工関係被害

商工会・商工会議所・中小企業団体中央会を通じて調査・把握した被災事業所の数は、県全体で1,866件、そのうち倉敷市真備町は523件であった（令和元年12月31日現在）。被災事業所では、事務所、店舗、工場、設備機器、商品等への浸水被害があった。

天井まで浸水したスーパー（倉敷市真備町）



## 第9節 文教施設の被害

平成30年7月豪雨災害により、児童生徒の学校生活も大きな影響を受けた。児童生徒及び教職員に死者・行方不明者はいなかったものの、多くの児童生徒が被災するとともに、文教施設に甚大な被害をもたらした。

### 1 学校施設の被害

学校施設については、次のとおり県立学校施設17件、市町村立学校施設58件が被災した。

特に甚大な被害を受けた倉敷市真備町に所在する学校園については、長期間にわたって臨時休業を余儀なくされるとともに、再開後も他校やプレハブ校舎での授業を強いられることとなった。

事務室（県立倉敷まきび支援学校）



水没した校舎（県立倉敷まきび支援学校。県民等からの提供写真）



県立学校施設被害状況

施設名	被害の概要等
岡山朝日高等学校	用水路の増水により法面陥没
高松農業高等学校	果樹園付近の法面が崩壊
岡山御津高等学校	学校敷地、産振棟及び部室が浸水
津山高等学校	寄宿舎法面が崩壊
笠岡商業高等学校	裏山の崖崩れによる校舎窓ガラス破損等
井原高等学校	裏山の崖崩れにより弓道場が損壊、グラウンドへ土砂流入
総社南高等学校	武道場軒の天板落下
高梁高等学校	グラウンド裏の崖崩れ
高梁城南高等学校	教職員住宅が床上浸水
林野高等学校	グラウンド及び部室等が浸水
岡山大安寺中等教育学校	教職員住宅が床下浸水
岡山盲学校	ため池に土砂流入、ネットフェンス傾斜
岡山聾学校	幼稚部校舎が浸水
岡山東支援学校	グラウンド及び実習地が浸水
倉敷まきび支援学校	敷地全体が浸水(建物1階部分、バス、厨房機器、受電設備等の浸水)
西備支援学校	農場実習地が陥没
東備支援学校	グラウンドが浸水

市町村立学校施設被害状況

設置者名	施設名	被害の概要等
岡山市	平島幼稚園	園舎が床上浸水
岡山市	角山幼稚園	屋外倉庫が浸水
岡山市	浮田幼稚園	屋外倉庫が浸水
岡山市	平島小学校	校舎、体育館が床上浸水、床、備品類の破損
岡山市	角山小学校	校舎が床下浸水
岡山市	御休小学校	校舎が床下浸水
岡山市	桃丘小学校	校地法面が地すべり
岡山市	野谷小学校	給食調理場の一部が浸水、敷地内へ泥水流入
岡山市	富山小学校	体育倉庫、プールのトイレ、更衣室、受電室が浸水
岡山市	大宮小学校	土砂崩れ(校舎から体育館への通路の石垣上部)
岡山市	千種小学校	体育館北側斜面が崩落
岡山市	雄神小学校	プール倉庫、トイレ、運動場体育倉庫が浸水
岡山市	浮田小学校	職員トイレが床上浸水、敷地、運動場、体育倉庫が浸水
岡山市	京山中学校	地下駐輪場、プールのトイレ及び通路が浸水
岡山市	上道中学校	敷地内の大量の土が流出
倉敷市	川辺幼稚園	園舎が床上浸水
倉敷市	箭田幼稚園	園舎が床上浸水
倉敷市	呉妹幼稚園	園舎が床上浸水
倉敷市	下津井東小学校	土砂が校舎の近くまで流入
倉敷市	川辺小学校	学校が床上浸水
倉敷市	箭田小学校	学校が床上浸水
倉敷市	玉島南小学校	プール西側の法面崩壊により市道に土砂流出
倉敷市	真備東中学校	学校が床上浸水
倉敷市	真備中学校	学校が床上浸水
倉敷市	児島中学校	運動場・テニスコート間の法面崩壊
倉敷市	郷内小学校	校舎裏の一部が陥没
倉敷市	真備陵南高等学校	学校が床上浸水
倉敷市	真備共同調理場	調理場の一部が床上浸水
津山市	加茂中学校	屋内運動場(卓球場)が床上浸水、電話交換機故障
玉野市	日比小学校	学校敷地内の土砂崩れ
玉野市	玉中学校	学校敷地内の土砂崩れによる武道場への浸水
玉野市	玉野商工高等学校	水路の石積が崩落
笠岡市	金浦小学校	学校が床上浸水
笠岡市	北川小学校	体育館が床上浸水、浄化槽(ブロー)被災
笠岡市	金浦中学校	学校が床下浸水、浄化槽(電気系統)被災
笠岡市	北木中学校	教職員住宅に土砂流入
井原市	大江小学校	土砂崩れにより、補助プールに土砂流入
井原市	井原中学校	学校用地の斜面が崩れ、土砂等がグラウンドへ流入
井原市	美星中学校	学校用地の斜面が崩れ、土砂等が校舎付近まで流入
総社市	昭和幼稚園	園舎が床上浸水
総社市	神在小学校	アルミ工場の事故の関係でガラス破損
総社市	新本小学校	裏山が崩壊
総社市	昭和小学校	学校が床上浸水
高梁市	高梁小学校	校舎の一部に土砂が流入、エレベーター故障
高梁市	玉川小学校	校舎及び体育館が床下浸水、プール浸水
高梁市	富家小学校	体育館が床上浸水、プール浸水
高梁市	津川小学校	水路の氾濫により学校敷地が浸水
高梁市	巨瀬小学校	石積みが崩落し、運動場に流入
高梁市	高梁中学校	テニスコートへ土砂流入
新見市	上市小学校	グラウンド裏の法面崩壊
瀬戸内市	裳掛小学校	駐車場上部法面の石積擁壁が崩落
瀬戸内市	行幸小学校	運動場が直径2m程度陥没
瀬戸内市	長船中学校	テニスコート付近の法面崩壊
赤磐市	赤坂中学校	裏山法面の崩壊により学校敷地内への土砂流入
真庭市	余野小学校	体育館裏の法面崩壊
真庭市	勝山中学校	校舎裏山の法面崩壊
矢掛町	中川小学校	学校が床上浸水、防球ネット・ブロック塀・フェンス倒壊
美咲町	旭小学校	グラウンド等に土砂流入

被災した体育館（倉敷市立真備東中学校）



災害廃棄物集積場となったグラウンド  
（倉敷市立真備東中学校。県民等からの提供写真）



## 2 社会教育施設の被害

社会教育施設については、倉敷市に所在する図書館や公民館をはじめとして、次のとおり11件が被災した。

社会教育施設被害状況

設置者名	施設名	被害の概要等
倉敷市	真備図書館	床上浸水
倉敷市	真備公民館	床上浸水
倉敷市	真備公民館川辺分館	床上浸水
倉敷市	真備公民館岡田分館	床上浸水
倉敷市	真備公民館辻田分館	床上浸水
倉敷市	真備公民館呉妹分館	床上浸水
倉敷市	真備公民館服部分館	床上浸水
倉敷市	真備公民館箭田分館	床上浸水
総社市	昭和公民館	床上浸水
高梁市	高梁市立図書館	移動図書館車が水没により全損
矢掛町	中川公民館	床上浸水

浸水により土砂等が堆積した玄関  
（矢掛町立中川公民館）



水没した公民館（矢掛町立中川公民館）



## 3 文化財の被害

文化財については、国指定の史跡である造山古墳をはじめとして、次のとおり29件が被災した。

文化財被害状況

所在市町村	文化財名	被害の概要等
岡山市	造山古墳	墳丘南東部の斜面3箇所が崩落
岡山市	坂古田古墳	指定地内の法面崩落
岡山市	岡山後楽園	園路の小規模陥没、御舟入北側の園路法面小規模陥没
岡山市	尾上車山古墳	前方部端部南よりの土砂が崩落
岡山市	木下利玄生家	雨戸が外れ、障子が破損
倉敷市	大橋家住宅	米蔵東側の軒先の漆喰及び土壁が剥落 東屋根が倒壊
倉敷市	下津井城跡	小規模な土砂崩れの発生
倉敷市	弘泉寺	裏山が一部崩落
津山市	津山城跡	史跡北西部の厩堀の東側から南側法面が崩落
津山市	旧苅田家住宅	3階蔵の2階外壁漆喰及びなまこ壁が剥落
津山市	津山藩主松平家菩提所泰安寺	史跡内の墓石部分を中心に陥没
津山市	岩屋城跡	二の丸から本丸に至るまでの斜面の一部が崩落 駐車場からの登り口の歩道の一部が土砂により流出
津山市	鶴山八幡宮釣殿	屋根の上部から雨漏りが発生
井原市	天神峽	土砂崩れの発生と道路面及び護岸の損壊
井原市	鬼ヶ嶽	土砂崩れの発生とトイレ周辺の土砂が流出
総社市	豪溪	県道の護岸が崩落し、一部路肩が陥没
高梁市	備中松山城御根小屋跡	グラウンド北側法面の崩落範囲が拡大
高梁市	臥牛山のサル生息地	指定地内の法面や山の地滑りが発生 防災道路から続く遊歩道が陥没するとともに、旧高梁自然動物園内の石垣が崩落
高梁市	備中松山城跡	小松山城十の平櫓の西側裏込め部分にクラックが発生
高梁市	高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区	伝建物に指定されている家屋一軒の外壁漆喰が剥落
高梁市	磐窟谷	指定地内にある市道法面の擁壁が崩落
高梁市	大賀の押被	河川の護岸が2箇所崩落 山の斜面が地滑りにより崩落
高梁市	弥高山	指定地内に位置するグラウンドの法面が崩落
新見市	羅生門	遊歩道の一部損壊
瀬戸内市	朝鮮通信使遺跡 牛窓本蓮寺境内	本蓮寺山門脇の土塀の一部が崩壊
赤磐市	両宮山古墳	内濠である両宮池の余水吐周辺から水が越流し、中堤範囲にある余水吐治いの農道 や斜面表面が一部損壊・剥落
真庭市	神庭瀑	遊歩道への土砂流出、眼鏡橋のコンクリート敷の下部から石が流出し橋が陥没 滝つぼ近くの橋等の擬木が流出
真庭市	オオサンショウウオ生息地	護岸の崩壊と路側の崩壊
西粟倉村	智頭往来-志戸坂峠越え	道とその間の斜面が崩落

被災した津山城跡



## 復興に向けて ②

岡山市東区平島地区。写真右下が砂川の決壊箇所（平成 30 年 7 月 18 日）



決壊箇所の改良復旧工事が完了した砂川（令和元年 11 月 21 日）

